

原発ゼロの会・摂津、千里丘(吹田)

事務局ニュース

第7号

2017年7月11日

原発ゼロの会・摂津、千里丘(吹田) 事務局

Tel : 06 - 6381 - 5709 (9条の会・摂津)

E-mail : nou.hujin@gmail.com

(新日本婦人の会摂津支部)

再稼働を止めさせよう

安倍政権は、高浜原発をはじめとして、過半数の国民が反対する原発の再稼働を進めています。さらに、安倍政権と電力業界は、運転40年で廃棄すべき老朽原発の再稼働を企図し、原子力規制委員会も例外扱いすべき運転40年以上の関電高浜原発、美浜原発を次々に審査し、「適合」としています。

しかし、韓国の文在寅(ムンジェイン)大統領は6月19日、新規原発の建設白紙化や設計寿命を超えた運転の禁止など、脱原発を推進すると宣言しました。台湾でも、昨年、現在の原発が40年の寿命を迎える時に合わせて、2025年にはすべての原発を廃止することを決定しました。このように、原発をやめ、再生エネルギーに向かうのが世界の趨勢です。特に、40年以上稼働している危険な老朽原発の再稼働などもってのほかです。国民から見放されつつある安倍政権の再稼働政策に今こそノー！を突き付けましょう。

増加する100%自然エネルギー地域

エネルギー需要に対して自然エネルギー(発電および熱利用)の年間供給量(2015年度推計)が100%を超える「エネルギー持続地帯」の市町村は72あり、前年度の63から増えています。(エネルギー持続地帯報告書より)

最もエネルギー自給率の高い大分県九重町では、1,310%に達しますが、その内訳は電力が1,290%、熱が20%です。また、これまで太陽光発電だけで100%を超えることはありませんでしたが、2015年度の推計では、7つの市町村が太陽光発電だけで初めて自給率が100%を超えています。地産地消で自分の町のエネルギーを自分でまかなう時代が始まっています。危険な原発は必要ありません。

自然エネルギー市民の会・講演会

日時：7月15日(土) 13:15~15:30

場所：ドーンセンター大会議室

(地下鉄天満橋駅から徒歩5分)

講演：和田武(自然エネルギー市民の会代表)

「再生エネ普及・新段階でのドイツの対応と日本の課題」

報告：豊田陽介(自然エネルギー市民の会運営委員)

「市民・地域共同発電所に関する全国調査結果」

参加申込：wind@parep.org 中村様まで

8.11はJR千里丘へ

原発なくしたい人集まろう！

ー原発いらない

スタンディングアピールー

次回の8月11日(金)は休日ですので、10時~11時です。夏本番ですが、暑さに負けずJR千里丘駅で「原発やめさせよう」の大きな声を轟かせましょう！原発廃止まで、粘り強く闘いましょう。

(6月11日の参加者は26人でした)